



# みつけた!



## ボクの名前は「大吉君」。初登場から25年!

豊川稲荷周辺のお店の前に、高さ約75㌢、幅約40㌢の招きキツネが、ちょこんと座っています。この招きキツネは大吉君と呼ばれており、門前を訪れたお客さんに名付けられたそうです。愛きょうのある表情とおなかに書かれた店名、そして「ようこそ豊川稲荷へ」の文字は、道案内だけでなく、豊川稲荷に来ていただいたお客さんへのおもてなしの心を表しています。

最初に大吉君が登場したのは、昭和60年11月5日。西本町の店主の皆さんが、まちがにぎやかになってほしいと願いを込めて、仕事を終えた後、協力し合い、手作りで制作したそうです。

大吉君が誕生して、今年で25年。その間、豊川稲荷周辺では、手作りの大吉君が一体一体と増えていき、現在では約50体の大吉君がお客さんを迎えています。約4年前には、高さ約180㌢のジャンボ大吉君も登場し、観光客の皆さんに親しまれています。

まちの皆さんの真心が形になった大吉君が、豊川稲荷周辺にいることを知らない方も多いのではないのでしょうか。

